2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎302
担 当 教 員	阿部　真士	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

疾病の本態と特徴的な病理学的所見を説明できるようになる
疾病の起こる原因をできるだけ簡単にお伝えできるように工夫いたします。
専門的な固有名詞が多く出てまいりますので、反復して覚えていただきます。

《成績評価の方法と基準》

期末試験評価:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

病理学概論(柔道整復学校協会編集)
※必要に応じた資料の配布を行う。
【参考図書】
カラーアトラス　病理組織の見方と鑑別診断　第6版, ロビンス基礎病理学

《授業外における学習方法》

それぞれの授業日前に、授業で取り上げる予定の教科書の章を予習しておくことが望ましい。
また、それぞれの授業日後に、授業中に取り上げた教科書中の該当項目について復習しておくこと。
また、単元で行う確認プリントの内容について復習を行うこと。

《履修に当たっての留意点》

積極的に授業に参加することを希望します。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	免疫の仕組みを理解する。	病理学概論　改訂第3版(全国柔道整復学校協会監修教科書) パソコン	教科書を用いた前期講義の復習を行っておくこと
		各コマにおける授業予定	免疫異常・アレルギー:免疫の仕組み		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	免疫不全と自己免疫の病態を理解する。	病理学概論　改訂第3版(全国柔道整復学校協会監修教科書) パソコン	教科書を用いた予習と復習
		各コマにおける授業予定	免疫異常・アレルギー:自己免疫疾患		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アレルギーの分類と病態を理解する。	病理学概論　改訂第3版(全国柔道整復学校協会監修教科書) パソコン	教科書を用いた予習と復習
		各コマにおける授業予定	免疫異常・アレルギー:アレルギー		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の概念を理解し、組織構造を理解する。	病理学概論　改訂第3版(全国柔道整復学校協会監修教科書) パソコン	教科書を用いた予習と復習
		各コマにおける授業予定	腫瘍:腫瘍の特徴		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の発育段階を理解し、生体に与える影響を理解する。	病理学概論　改訂第3版(全国柔道整復学校協会監修教科書) パソコン	教科書を用いた予習と復習
		各コマにおける授業予定	腫瘍:発癌		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	良性腫瘍と悪性腫瘍の特徴を理解する。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 復習資料の配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	腫瘍：良性腫瘍・悪性腫瘍		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	主要な癌と好発部位を理解する。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 復習資料の配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	腫瘍：主要な癌		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	遺伝子と染色体の構造と仕組みを理解する。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 復習資料の配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	先天性異常：遺伝性疾患・催奇形性因子（形態異常を誘因する因子）		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	奇形について理解する。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 復習資料の配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	先天性異常：各器官の形態異常		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	病気の原因を把握し、各疾病の原因を理解する。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 復習資料の配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	病因：内因		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	病気の原因を把握し、各疾病の原因を理解する。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 理解度確認を行なうためにの確認問題配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	病因：外因		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	病気の原因を把握し、各疾病の原因を理解する。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 理解度確認を行なうためにの確認問題配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	病因：感染症		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動器における疾患を理解し、病態の把握を行う。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 理解度確認を行なうためにの確認問題配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	運動器の病理：感染性疾患・骨および軟部腫瘍		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動器における疾患を理解し、病態の把握を行う。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	教科書を用いた予習と復習 理解度確認を行なうためにの確認問題配布を行うことがある
		各コマにおける授業予定	運動器の病理：骨および軟部腫瘍		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	履修内容の確認を行ない、履修が終了した範囲の確認問題に解答できる。	病理学概論　改訂第3版（全国柔道整復学校協会監修教科書） パソコン	まとめに使用した内容をテキストや配布資料を用いて確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	まとめ		